

公共施設等の統合「保育所と小学校の統合」(大阪府岬町)

取組概要

耐震化を行った小学校の余裕教室を利用し、保育所の併設を実施することにより、児童の安全・安心を確保するとともに、「小1プロブレム」問題に対応しつつ、公共施設の配置の適正化を図る。

人口 16,355人

担当 行革推進課

取組の効果

- ・集団生活を通じた思いやりの心、協調性やコミュニケーション能力の育成
- ・双方の児童が小学校と保育所の行事に参加することによる体験・教育機会の多様化
- ・小学校教諭と保育士の連携強化による「小1プロブレム」の緩和
- ・多数の職員・保護者の目で児童を見守ることによる安全管理の向上

創意・工夫した点

- ・単なる保育所間の統合ではなく、地域性を活かしつつ、小規模校を存続し、余裕施設を有効活用
- ・グラウンドの一部芝生化による交流スペースの確保。

他団体へのアドバイス

- ・地域性等を鑑みて、保育所間の統合以外の選択も考慮
- ・統合にあたっては、保護者の理解を得るために、行政側のメリットでなく、住民目線に立ったメリットが必要



グラウンドの一部芝生化(多奈川小学校)



保育所の併設(深日保育所)